

2011年5月13日

「将来の国際情勢と日本の外交」研究会

【活動の趣旨】

本研究会は、戦後の日本外交を振り返り、20年程度未来の国際情勢についてシナリオ・プランニングを行うことで、日本のとるべき方向性と政策について提言を行うことを目的とした。我が国は第二次世界大戦後、日米安保条約によって安全保障を担保することで戦後復興と経済成長を遂げ、経済大国として国際政治における影響力を保持してきた。しかし、2010年、中国のGDPが日本を上回り、日本は、世界第二の経済大国の地位を失った。また、我が国の安全保障の基盤をなしてきた日米同盟についても、普天間基地移設問題に象徴されるように、困難な問題を内包している。

日本は今後、どのようなアイデンティティと外交戦略をもって、国際社会に向き合っていくべきなのであろうか。この観点から20年先の日本を取り巻く国際情勢を考えると、対処しなければならない問題群は、次の二つに大別される。第一の問題群は、パワーバランスの変動である。中国などの新興国の台頭によって、唯一の超大国であるアメリカの影響力が相対的に低下することが予想され、こうしたパワーシフトによって、国際秩序の枠組みが大きく変化すると思われる。特に、日本が位置する東アジアにおいては、中国の台頭が軍事・経済バランスに一層大きな変動をもたらす中で、安定的な地域秩序をいかに構築し、我が国の安全を保障するかが重要である。日本の安全保障の基盤である日米同盟についても、大きなパワーシフトに対応した、より有効なあり方を模索することが求められる。こうした、地政学的な、あるいは、伝統的な安全保障問題を中心とする第一の問題群に対して、第二の問題群は、環境やエネルギーといった、これまで、外交・国際政治の範疇とは考えられてこなかった分野に関するものである。気候変動や資源の流れの変化は、日本の経済や生活に大きな影響を与えるものであるが、何れもグローバルな問題であるため、日本一国で対処することはできず、各国との交渉や協力が不可欠となる。こうしたグ

グローバルな問題に対処する上では、日本の国益を確保すると同時に、解決に向けた世界的な取り組みに資することを両立させなければならない。その際、日本がこれまで一定の成果を上げてきた技術開発や発展途上国に対する援助を、外交ツールとして有効に活用していくことが重要になると考えられる。

本研究会では、狭い意味での外交・安全保障の範疇を超えてこれら二つの問題群を総合的に考察し、近未来の国際情勢についてのシナリオ・プランニングと、その中で日本が取るべき戦略について考察・提言を行った。

【活動概要】

上記の問題意識から、安全保障や技術開発、環境対策や援助といった様々な分野における日本の取り組みの蓄積を検証し、それに基づいて各分野において描かれる 20 年程度の未来に向けた見通しと課題と総合的に考察することで、将来の国際情勢とその中における日本の外交のあり方を論じた。具体的に検証・考察した事項は、以下の 8 点である。

- (1) 国際秩序のこれまでの変遷と今後の変化見通し
- (2) 日本を取り巻く地域秩序
- (3) 日米関係・同盟
- (4) 伝統的安全保障
- (5) 日本と環境問題
- (6) 日本の途上国開発援助
- (7) 資源エネルギー戦略
- (8) 科学技術政策

2010年7月1日に第1回会合を開催し、以降、6回の会合を重ねて以上8点について論

究を深め、2011年3月に報告書『将来の国際情勢と日本の外交：20年程度未来のシナリオ・プランニング』を完成した。また、本研究会の成果発表の一環として、2011年3月11日に、公開シンポジウム『将来の国際情勢と日本の外交：20年後の世界はどうなっているのか？その時日本は？』を開催した。このシンポジウムでは、在京各国大使館関係者や有識者、弊所会員から200名以上の聴衆を集め、活発な議論が期待されたが、開催中に発生した東北・関東大地震のため中断を余儀なくされた。被害に遭われた方におかれては、誠に痛ましく、心からお見舞い申し上げます。シンポジウムの中断は、大変残念なことではあったが、多くの聴衆を得ていたことは、本研究会に対する内外の関心の高さを示し、その成果が我が国の外交政策研究の向上に資するものであることを確信させることであった。

【研究メンバー】

主査

山内昌之（東京大学大学院総合文化研究科教授）

委員

大野泉（政策研究大学院大学教授）

亀山康子（国立環境研究所地球環境研究センター温暖化対策評価研究室主任研究員）

鈴木一人（北海道大学公共政策大学院准教授）

中山俊宏（青山学院大学国際政治経済学部教授／日本国際問題研究所客員研究員）

細谷雄一（慶應義塾大学法学部准教授）

前田匡史（国際協力銀行国際経営企画部長／内閣官房参与）

道下徳成（政策研究大学院大学准教授）

宮城大蔵（上智大学外国語学部国際関係副専攻准教授）

委員兼幹事

斎木尚子（日本国際問題研究所副所長兼主任研究員）

下谷内奈緒（日本国際問題研究所研究員）

西川賢（日本国際問題研究所研究員）

森山央朗（日本国際問題研究所研究員）

研究助手

鈴木涼子（日本国際問題研究所研究助手）